

管理運営評価シート(令和4年度)

施設名称	朝日地区体育施設(7施設)	評価対象年度	令和 4 年度
指定管理者名	特定非営利活動法人 総合型地域スポーツクラブ 愛ランドあさひ	所管課	生涯学習 課
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)	評価者(課長)	平山 祐子

1 令和4年度の実績

(1)事業実績

利用実績	利用者数(7施設):28,061人、スポーツ事業:13事業実施(参加者数1,868人)
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理施設のほかスキー場等の地域財産を最大限に活用したスポーツ事業を計画実施した。 様々な年代が参加できるスポーツ・健康維持増進・介護予防等事業を実施できた。 豪雨や大雪等の臨時休館の際、HPやSNS等を活用しタイムリーな情報配信をすることができた。

(2)管理経費

(単位:千円)

区分		前々年度 (2年度)	前年度 (3年度)	当該年度 (4年度)	合計	備考
収入	指定管理料	38,038	40,008	42,653	120,699	基本協定額: 208,717 千円
	利用料金	453	458	421	1,332	
	事業収入	175	172	375	722	
	自主事業収入	163	161	177	501	
	その他	40	101	175	316	
	収入合計 ①	38,869	40,900	43,801	123,570	
支出	人件費	16,279	16,014	15,072	47,365	
	福利厚生費	2,215	2,466	2,739	7,420	
	事務費	822	626	1,072	2,520	
	管理費	15,178	16,309	19,266	50,753	
	水道光熱費	4,088	4,437	6,176	14,701	
	修繕料	2,144	2,491	1,647	6,282	
	使用料・リース料	2,031	2,057	1,973	6,061	
	手数料・保険料	530	476	495	1,501	
	委託料	6,385	6,848	8,975	22,208	
	事業費	410	663	1,175	2,248	
	自主事業経費	163	161	174	498	
	その他	2,347	2,413	4,255	9,015	
支出合計 ②	37,414	38,652	43,753	119,819		
収支差額(①-②)	1,455	2,248	48	3,751		

2 共通評価項目

(記入者)自己評価…指定管理者 所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考 (◎、△、×のときは評価内容、その他特記事項があれば記入)
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	◎	○	利用申請の取扱いのルール化と市内体育施設指定管理者との情報共有による均一なサービス提供を実施
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。(書類の保管、社員への周知等)	◎	○	事務所施設錠の徹底や個人情報が目につけることのないよう徹底防止を図っている
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	◎	○	クラブ規定等による部外秘の遵守事項の徹底
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	◎	○	状況に応じ臨機応変なシフト編成を確保している
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	◎	○	振替休日制度や有給休暇の5日取得義務化(労働基準法)の徹底管理を実施
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	◎	○	どんな世代にも対応する総合的なスポーツ振興等各種事業に取り組んでいる
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	◎	○	コロナウイルス感染症の影響により一部未実施であったが地域財産等も活用しながら事業に取り組んだ
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	○	○	
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	◎	○	定期利用団体から日常的な意見収集を行うことでニーズや不具合等に対応することができる
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報的確な手法を行っている。	◎	○	リーフレットや広報誌等は全てクラブで作成し効率性に重視した広報を行っている
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	○	○	
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	◎	○	経理業務の適正化や向上を図るとともに、徹底した月次管理の収支の維持継続を実施
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	◎	○	様々な有識者からの助言とこれまでの経験を活かした事業内容を計画している
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	◎	○	事業を行いながらニーズの収集に努めるとともにクラブ内で協議を重ね新事業を実施している
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	○	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	◎	○	臨時職員を含め3人の地元雇用を実施することができた
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	◎	○	オンライン研修会を最大限活用し、参加した職員で研修内容をもとに討議することができた
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	○	○	
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	◎	○	発生事象等の情報共有の徹底を図っている
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	◎	○	苦情や、様々な災害や事象等について、日々代行員を含めた情報共有を実施している
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	◎	○	正職員並びに期間を定めた臨時職員計3人の地元雇用を行うことができた
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	◎	○	地域のPTA活動や村上市の観光施設のPR事業等への参加協力を行った

◎:協定等の内容を超える水準で業務を履行している ○:協定等の内容どおり業務を履行しており適正

△:協定等の内容に対し、一部不履行がある ×:協定等の内容に不履行があり改善の必要がある -:該当なし

3 業務実施上の課題(指定管理者が記入)

(1) 指定管理業務実施上の課題

全施設の経年劣化が著しく、修繕費にも限りがあるため根本的な修繕ができない場合がある。
近年の電気料や燃料、物価の高騰が続き、さらに最低賃金の引き上げにより委託料等が年々増加している。
不可抗力によって発生した費用等の負担について令和4年度同様に協議をお願いしたい。また、人件費についても若手職員の雇用継続につながるように世相を反映した協議ができるようお願いしたい。

(2) 課題解決に向けた取組

教育委員会並びに朝日支所関係課をはじめ行政各課への相談により的確な助言をいただきながら維持管理業務を実施している。
さまざまな事象については、市内体育施設指定管理者である市内総合型地域スポーツクラブと情報共有を図り、公共性等を保ち、均一なサービス提供を実施している。
また、限られた予算内での修繕措置や施設維持管理は、業者と現状を確認しながら創意工夫を図り実施している。
各種業務委託の一部は、契約期間の長期化(5年及び自動更新)の締結により、費用の低減化並びに安定的な履行と利用者への提供を図っている。

(3) その他

①利用者からの主な意見や苦情、対応策

定期利用団体や施設利用者の声や意見等の要望収集は、随時情報交換できる環境及び関係性が成り立っているため、利用向上に向けたコミュニケーションが図られている。
開催事業や施設管理の内容は、HPやSNS等を通じた情報配信を行っており、施設利用に関するアンケート調査からも、「配信を楽しみにしている」という声が聞かれた。
また、FacebookやInstagram等SNSフォロワー数は900人を超えとなり、配信頻度が過度になりすぎフォローが不快にならないよう配信を行っている。

②その他

令和4年度、8月の豪雨水害や12月の豪雪による倒木による被害が多く見られ、朝日地区内でも様々な活動が滞る集落が多い1年となった。特に、1月はクラブの活動拠点となっている朝日総合体育館が地区内で発生した鳥インフルエンザの対応職員の拠点施設となり、冬季間開催の事業の多くが未実施となった。
次年度は新型コロナウイルス感染症の5類引下げを踏まえ、地域のニーズに対応できるよう指定管理業務はもとより自主事業等においても積極的な事業実施に努めるとともに安定的な財政基盤の確保を目指していきたい。

4 全体的な評価

(1) 指定管理者の評価

年間指定管理料の原資を踏まえ、徹底した管理と創意工夫を図った施設の維持管理を実施している。また、利用者との関係性や夜間休日の代行業務員との情報共有も非常に良好であり、要望等ニーズの収集も実施継続している。
災害等による活動制限の中、クラブ内で再開後実施する事業や施設維持に関するプライオリティについて討議を重ねることが出来た。
次年度は新型コロナウイルス感染症の5類引下げ予定であるが、コロナ禍で多くの活動が制限されてきたことを教訓に、指定管理施設等を活用したスポーツ推進並びに健康維持増進事業をツールとした地域コミュニティの再起動の一助となるよう活動を行っていく。

(2) 施設所管課の評価

令和4年度の指定管理7施設の利用者は、28,061人、スポーツ事業は13事業を実施し、延べ1,868人の参加があった。令和5年1月に朝日総合体育館が高病原性鳥インフルエンザ防疫作業会場となったため、計画した3事業が中止となった。指定管理協定書及び事業計画書に基づいた施設の管理運営、スポーツ事業が実施されたと認める。
施設の維持管理について、施設・備品の不具合の早期発見、予防保全に繋げるため、定期点検を行い、安心・安全な維持管理に努めている。
利用者ヒアリングからは、施設状況として常に整備等が施された環境維持・管理ができているとの評価を得ている。

(3) 次年度の管理運営に対する指導事項等(施設所管課)

今後とも適切な施設管理と親切丁寧な対応を心がけ、利用者の満足度向上を目指して施設運営にあたってもらいたい。更なる利用者増加に向けた事業展開について検討するとともに、体育施設が地域住民等に対するサービスの向上及び地域福祉の一層の増進が図られるよう取り組んでもらいたい。